

# 盧溝橋事件74周年の街頭宣伝

7月7日は、もうひとつの七夕。天満屋アリスの広場前で、9人がチラシ200枚を配り、マイクで市民に呼びかけました。稲葉理事、井上監査、河井理事、小林事務局長、竹内理事長、林市議会議員、原監査、山根帰国者夫妻でした。

半島や真珠湾攻撃より早く、対米英戦争そして第二次世界大戦の推進者となりました。――

盧溝橋事件のビラを配って昭和12年7月7日、私が小学校5年生の時、今から74年前のことでした。日本軍と中国軍の衝突した事件にはじまり、延々と中国を侵略し銃後では生活が様変わりし、「お母さん、欲しがりません勝つまでは」と店先から品物が消えてしまいました。



戦死なされた遺骨の出迎えて駅に向きましたし、出征軍人のお家への勤労奉仕に行き学校での授業もカットされました。中国、日本共に多くの尊い命が失われたのです。再び戦争があつてはなりません。

日中友好協会会員は皆歩き回って通行人の人達にビラを配って一人でも多くの方に理解して頂くよう頑張りました。不再戦の誓いを新たに日中友好をすすめたいものです。

井上愛子



題字 萩原田 親

No. 643

2011/7/25

## 日中友好新聞

発行所

日本中国友好協会  
〒110-0005 東京都千代田区  
西船場1-1-1 東武ビル3階

日中友好協会  
岡山支部

〒700-5258  
岡山県東区3-8-30 511  
TEL:0861272-3010  
郵便番号11所  
01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部

〒712-8911  
倉敷市連島中央1-8-1  
(宮地方)  
TEL:FAK0860 446-2711

## 訃報

日中友好協会岡山支部顧問 嘉松喜佐夫さん

30年近くにわたり岡山支部の支部長として活躍され、岡山弁護士会会長でもありました。長く入院療養中のところ、7月5日永遠のお別れをすることになりました。享年80歳でした。つつしんでご冥福を祈ります。

岡山支部は感謝式(無宗教の告別式)に果物籠をお供えし、長年のご苦勞に思いをいたしました。合同法律事務所をはじめ、たくさんの団体のみなさんとお見送りをいたしました。

竹内和夫



1992.4.26 正面中央が嘉松支部長

日中友好協会 岡山支部1992年度支部総会(海華楼)

### 労釣りの嘉松さん

今から20数年前、塩飽諸島の本島で一泊研修旅行の際、せっかくだから本島の港で同行の小椋氏と釣りをしていると、嘉松さんが「君らも釣りをするのか、なら労釣りに入りなさい。」といわれて入りました。当時の労釣り(勤労者釣りの会)の会長が嘉松さんでした。

労釣りの例会には何回かご一緒させていただきました。会長の釣果は我々と同じくらいでした。

今頃は天国の浜で釣りを楽しんでおられるでしょう。

岡山労釣会員 河井伸士

日中友好協会岡山支部は7月13日、総会後初めての前理事会を開きました。

第1回理事会で確認された各理事の役割分担は次の通りです。

青木(太極拳)  
稲葉(母連、不再戦平和)  
宇野(支部長、文化講座)  
貝吹(料理教室、女性サロン)  
河井(レクレーション、旅行)  
小林(事務局長、帰国者支援)



真田(副理事長、中国語講座、9条の会)  
竹内和(理事長、不再戦平和、組織、会計)  
竹内契(機関紙編集長、料理)  
谷口(青年、事務局)  
西森(帰国者支援、料理教室)  
総会方針に基づいて、みんなで、協力して頑張ります。  
みなさまのご支援をよろしく  
お願いします。

東日本大震災支援募金  
第4回 6月30日 15,122  
合計 89,959

### 新しいお仲間紹介

中国には行ってみたいところがたくさんあります。電車に乗って中国の田舎にも行ってみたいし、中国のスケールの大きさも感じてみたい。言葉がわかれば何倍も楽しいだろうと思い中国語の勉強を始めました。

中国語講座の入門クラスに通い始めて9カ月が経ちました。ニュースを見ていて知っている単語が出てくるだけで嬉しくなります。交流会などで旅行に行った方からいろいろな話を聞いたり写真を見せていただいたりして自分も行った気になって楽しんでます。中国で買い物のときに値段交渉を成功させる、それが今の最大の目標です。

これからも頑張っ勉強していこうと思います。

中国語講座受講生 笠井紀子

日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://rzhong.web.infoseek.co.jp  
メールアドレス  
rzhong86@hotmail.co.jp





# 中国帰国者の訴えに応じて「岡山の会」に加入しよう！



訴える中国帰国者のみなさん達

## 役員の一覧

会の役員は、中国帰国者3人、弁護士3人、日中岡山支部2人、日本語教室1人の計9人です。今後は、必要に応じて追加していきたいと思っています。

- 会 長：高見英夫(中国帰国者) 副会長：奥津 亘(弁護士)  
 竹内和夫(日中友好協会岡山支部)  
 事務局長：則武 透(弁護士) 事務局次長：小林 軍治(日中友好協会)  
 大森輝宏(中国帰国者)  
 会 計： 高杉久治(中国帰国者) 井上進夫(日本語教室)  
 監 査： 秋山義信(弁護士)

## 規約の抜粋

中国帰国者の尊厳を回復する岡山の会 規約

- 名称 本会の名称は、「中国帰国者の尊厳を回復する岡山の会」という。
- 事務所 本会は、主たる事務所を岡山合同法律事務所 に置く。  
〒700-0807 岡山市北区南方 2-8-25 大三ビル 3 階
- 目的  
本会の目的は、次の事項とする。  
 (1)中国残留邦人及びその家族の生活を支援する。  
 (2)中国残留邦人が生まれた歴史と経験を次の世代に伝え、交流を深めることで、日中両国の相互理解と友好の促進に貢献する。  
 (3)中国残留邦人及びその家族の地域社会への積極的な参画を支援する。
- 活動と事業(略)
- 会員資格  
 (1)中国帰国者(中国残留孤児、残留婦人とその家族)  
 (2)日中友好協会の会員及び準会員。  
 (3)「孤児」訴訟を支援した弁護士。  
 (4)その他本会の目的に賛同する個人・団体。
- 役員 7、総会 8、事務局 (いずれも略)
- 会計 本会の経費は、会費と個人・団体の寄付金を以って充てる。  
 (1)会費は月額 300 円とする。  
 (2)会計年度、7月1日に始まり、翌年の6月30日とする。
- 付則 本会の規約の改廃は総会で行う。  
 この規約は2011年 7月1日から実施する。

## はじめに

6月18日、岡山市立高島公民館で「中国帰国者の尊厳を回復する岡山の会」が結成されました。

今号では、会に参加した中国帰国者の訴え及び会の役員一覧と規約の抜粋を紹介いたします。

なお、「会」への参加のお願いと「入会申込書」を同封いたしますので、前号に引き続きぜひ多くの日中会員のみなさんが「岡山の会」に参加していただきますようお願いいたします。

## 中国帰国者の訴え

新支援法ができ、基本的に満足していますが、配偶者の問題はやはり大きな問題。孤児が死んでから、配偶者が生活保護に戻ってしまう。配偶者が中国にいるときも、孤児と結婚したせいで、苦労してきました。しかし、日本に来るのも、孤児についてきたのに、孤児がなくなつたからといって、生活ができなくなるのはおかしい。現に、高島のTさんもそういう状態です。やはり、迅速に取り込まないといけないと思います。」

でも、限度がある。みんなもう70超えている人が多い。いつまで待たらいいですか。」

孤児の配偶者は中国にいたときよりも酷い目に会っている。親戚もいない、日本語も分からない。孤児が死亡すれば生活保護に逆戻りする。これではなぜ日本に来たのかということになる。孤児が死んで中国に帰りたいという孤児の配偶者にも支援が必要だ。墓参りについては、日本国民が親孝行することによって日本政府が奨励しないのか。」

孤児の帰国についてですが、何等かの支援ほしい。中国の養父母が育ててくれたおかげで、命拾いをしました。今となっては、もうほとんどの養父母が生きていない。せめてのことと思ひ、皆さん墓参りぐらいいしたい。だから、国にはある程度の支援をしてほしい。」

孤児らのお墓の問題が気になります。孤児らはお金がない。日本で、墓地を買うのも、墓石だつて100万ちかくかかります。そんなの到底払えない。だから、そのへんも国に顧慮してほしい。そして介護の問題、言葉の問題を建設してほしい。」

## 台湾旅行④ 谷川浩文

その後、バスに乗り換え、タロコ峡谷へ向かう。あいにく前日の大雨で谷川の水は茶色に濁っていたが、水が澄んでいるときはコバルトブルーに見えるそう。本当に残念だった。

ツアーでは、必ずツアー客の要望とは全く異なる場所へ、半ば強制的に連れて行かれる。大理石工場の見学は、今思い返しても何だったのだろうか、あれは。と考え込んでしまう。

食事の後の宝石店見学、お茶の後の免税店散策。全てが仕組まれた畏だが、だれも術中にはまるとは思わない。

大理石はタロコ峡谷で切り出して業者が持ち帰り、加工するらしいが、大理石加工工場では、東南アジアからの出稼ぎの人が従事しているそう。

何か、日本の外国人研修生とよく似ているなあってつくづく思った。

### 第24回岡山きりえ展

石部 麻実

●と き 2011年 7月26日(火) ▶ 7月31日(日)

AM9:00~PM5:00 (最終日はPM4:00まで)

●と ころ 岡山県天神山文化プラザ 2F 第4展示室

主催 岡山きりえの会  
 協賛 日中友好協会岡山支部  
 後援 日本きりえ協会  
 岡山県教育委員会

次回の新聞送付作業は  
 8月2日(火)午後1時半  
 民主会館2階で行います。  
 前回お手伝いくださった方  
 貝河井 和 吹井 和 竹内 和 竹内 和 坪井 和 三垣 和